

平成29年6月22日（木）府立須知高等学校にて、平成29年度第2回環境・食育パートナーズクール事業を実施しました。

今回は「里山について学ぶ」という観点から、最初に京都大学院生から「里山の秘密」と題した講義で里山の意義について学びました。その後は、須知高校食品科学科公園管理コースの先生と生徒の指導の下、チェーンソーを使った薪作り体験、同学科の食品加工コースの先生と生徒の指導の下、筍（たけのこ）ピザ作り体験をしました。

薪作り体験では、蒲生野中学校の生徒たちが須知高校の先生からチェーンソーの扱い方の説明を受けた後、高校生からアドバイスを受けながら各グループで作業を進めました。チェーンソーを初めて使う中学生がほとんどで、最初は慣れない作業で悪戦苦闘していましたが、次第にコツをつかんで作業を楽しむ様子も見られました。体験の最後に須知高校の先生から、今回薪作りをした木は須知高校の敷地内でナラ枯れにより伐採された木であり、作業が里山の整備にも役立ち薪ストーブ等の燃料にもなること、今回作った薪を全部合わせると軽トラック1台分くらいになることを聞いて体験作業の達成感を感じるとともに里山での作業に関心を持った様子でした。

ピザ作り体験では、ピザの生地や具が京丹波町産であることや、作り方のコツについて高校生から説明を受けた中学生が実際に生地を伸ばしてトッピングをしました。出来上がったピザは高校生が釜に入れて焼き上げ皆で試食しました。

中学生からは「チェーンソーで木を切ったのは初めての体験でした。」「皆でピザ作りをして楽しかった。」といった感想がありました。今回参加した須知高校生の中にはパートナーズクール事業開始初年度に小学生として参加した生徒が在籍しており「パートナーズクールでの体験はよく覚えていて、その後の進路選択にも役立った。」と振り返っており、この事業が校種間連携事業として定着していることが垣間見られる一幕もありました。

次回（最終回）の取組は、来年1月下旬に予定されています。

